メガミマガジン2011年5月号 別冊付録②

魔法少女まどか☆マギカ

スペシャルブック







第 1 話

「夢の中で逢った、ような……」

鹿目まどかは、ある晩黒髪の少女が巨大な怪物と戦う夢を見る。翌日、その少女とそっくりな暁美ほむらが転校してくるが、彼女の謎めいた言動にまどかは戸惑う。下校途中、不思議な声を聞いたまどかと友人の美樹さやかは、傷ついた謎の生物・キュゥべえを見つけ、奇妙な空間へと迷い込んでしまう。不気味な生物に襲われそうになった時、同じ中学の先輩・巴マミが現れ、まどかたちは助けられる。その後、キュゥべえから「僕と契約して、魔法少女になってほしい」と頼まれる。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／芦野芳晴　演出／宮本幸裕　作画監督／江畑諒真



▲魔女に襲われかけたまどかたちを助けてくれたのは、魔法少女のマミだった



▲夢の中でのまどかも、キュゥべえから「魔法少女になって」と告げられる



◀マミが治癒の魔力を使い、キュゥべえの傷はみるみるうちに治っていった



▲愛らしい姿のキュゥべえは、まどかとさやかに契約をお願いする



▶はじめてまどかと会ったのにも関わらず、まるで彼女を知っているようにふるまう



▶いつもまどかと行動を一緒にするさやかと仁美。ほむらについての噂話に花が咲く



▲傷ついたキュゥべえを助けようとしたまどかとさやかは「結界」へと迷い込む

虚淵Column

まず、ビビったのは背景美術ですよね。あと、キュゥべえの口が開かなかったところ。絵コンテの段階で、背景は凄いことになるなという予感はあったんですけど、想像の斜め上を行ったなと。インパクトがありました。

Character

キュゥべえ

魔法少女として契約することで、少女の願いをなんでも叶えることができる不思議な小動物。見た目は愛くるしいマスコットキャラ。







鹿目（かなめ） まどか

友達思いで心やさしい、中学2年生の少女。キュゥべえからは、最高の魔法少女になり得る能力を秘めていると言われる。

用語辞典

• 魔女

異空間世界「結界」の中に隠れた、世界に禍をもたらす存在。魔女が見えない普通の人にとっては、災害などとして知覚される。魔女の手下や使い魔が人間を捕食して成長すると、元の魔女と同じ姿になる。

• 魔法少女

キュゥべえとの契約により魔力の源であるソウルジェムを得て、魔女と戦う宿命を課せられた少女。ただし、魔力を使うことにソウルジェムが濁ってしまうため、魔女が持つグリーフシードを使用し、浄化しなければならない。

MAGICA STORY OPENING FILM



OPテーマ「コネクト」を歌うのは、現役中学生クララとアリスのアイドルユニット・ClariS。仲間、絆、夢をテーマにした、前向きになれるポップなナンバーだ。映像では、中学生のまどかの日常や学校生活、彼女を取り巻く人々と、魔法少女になったまどかが懸命にがんばる姿が描かれている。また、EDテーマの「Magia」は、劇伴も担当している梶浦由記プロデュースによる女性ヴォーカルユニット・Kalafinaが担当している。



第 2 話
「それはとっても嬉しいなって」

キュゥべえを助けたまどかとさやかは、結界内で出会った魔法少女・マミの家へと招待される。そこで2人は、キュゥべえから、魔法少女が願い事をなんでもひとつ叶えてもらえる代わりに、魔女と戦わなければならないこと。魔女が人々に絶望をまき散らす存在であることを聞く。魔法少女への憧れはあるものの、願い事が簡単には思いつかず、魔法少女になる決断をしきれない2人は、マミに誘われて彼女の魔女退治に付き合うことになり――。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／芦野芳晴　演出／向井雅浩　作画監督／高橋美香

虚淵Column

見どころはマミさんのマスケット銃ですね。脚本の段階では魔女などの設定が決まっていなかったので、戦闘シーンはセリフだけ用意して、完全に書き飛ばしていたんですよ。あんな形で膨らむとは思いもよらなかったです。



▶マミの部屋で、まどかとさやかは魔法少女の契約について説明を受ける



▲キュゥべえは、魔女がいかに危険な存在であるかをまどかたちに告げるが……



▲まどかが魔法少女のコスチュームを考えていたと知り、微笑むマミ



▲普通の人間には姿が見えないキュゥべえは、まどかたちの学校にもついていく



▲マミはまどかたちの前で、魔女を退治。自殺しようとしていたOLの命を救う



▶ほむらはまどかに、キュゥべえに注意するようと牽制の言葉を投げかける



◀人助けのためにがんばるマミの姿を見て、誰かの役に立てたらうれしいと思うまどか

Character





暁美（あけみ） ほむら

成績優秀、容姿端麗、スポーツ万能の魔法少女。謎多き言動で、まどかが魔法少女となることを阻止しようとしていた。

用語辞典

●グリーフシード
倒した魔女が時々落とす魔女の卵。魔力を使うと濁っていくソウルジェムの穢れを吸収し、魔法少女の魔力を回復させるという働きがある。

●ソウルジェム
キュゥべえと少女が契約した結果、生み出される宝石。魔法少女の魔力の源であり、魔女の存在を感知するためにも使える。色は特に決まっていないようで、魔法少女によって異なる。

第 3 話
「もう何も怖くない」

なかなか魔法少女になる決断ができずにいたまどかとさやかは、恭介が入院中の病院で、孵化しかけた魔女の卵・グリーフシードを発見する。さやかとキュゥべえを残し、マミを呼びに走るまどか。彼女たちが病院へと戻ったときには、さやかはすでに結界の中だった。マミとともに結界に入ったまどかの前にほむらが立ちふさがるが、マミの魔力の網によって動けなくなってしまう。ほむらを残して先を急ぐ途中で、まどかは魔法少女になって一緒に戦いたいとマミに告白する。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／芦野芳晴　演出／八瀬祐樹　作画監督／神谷智大



◀共に戦ってくれるというまどかの言葉に、マミはうれしくて涙を流す……



◀まどかたちの応援を受け、様々な銃を駆使して華麗に戦うマミ。だがこの直後に……



▲さやかは入院している幼なじみの恭介の元へ、足繁くお見舞いに通っている



◀まどかは魔法少女をイメージして、ノートにいろんな衣装を描きこんでいた



▲まどかとさやかは魔法少女の厳しい現実をほむらから語られる



▶マミのように人の役に立ちたくて、まどかは魔法少女に憧れるようになる



▲マミと魔女の戦いを見て、驚愕する2人。魔法少女がただの憧れの存在でないことを知る

虚淵Column

マミの死はグロい物を見せたかったわけじゃなく「ひとつ油断するとこうなるよ」という無常感が重要だったんです。また「絶対に生き返りません」ということを明示するために、あの死に方が必要だったというのもあります。

Character





巴（ともえ） マミ

まどかたちと同じ中学に通う魔法少女。中学3年生。マスケット銃を使って戦う。ベテランの魔法少女。

用語辞典

●結界
魔女が潜む異世界。普通の人間は迷い込んだら、まず生きて帰ることはできないといわれている。結界を張っている魔女を倒すことで、元の世界に戻すことができる。

●使い魔
魔女の手下。魔女から分離して増殖し、魔女の護衛役も兼ねる。自らも人間を襲い食らうことで成長し、独自の結界を張って自立。さらに成長すると、元の魔女と同じ姿になる。魔女と違い、グリーフシードは持たない。

第４話

「奇跡も、魔法も、あるんだよ」

マミの敗北にショックを受けたまどかとさやかは、魔法少女になることをあきらめる。しかし、まどかは家族の前や学校で、いつもどおりに振る舞うことができずにいた。落ち込み続けるまどかに、ほむらは淡々と魔法少女の運命について語る。一方さやかは、幼なじみの恭介の病室を再度訪れていた。事故の後遺症でヴァイオリンの演奏をあきらめろと医者に言われ、自暴自棄になった恭介を見て、さやかは「奇跡も、魔法も、あるんだよ」と告げる――。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／笹木信作　演出／小俣真一　作画監督／小関雅



▲衝撃の戦いの後も、日常は何も変わらない。その事実が、まどかたちに重くのしかかる



◀まどかは町で魔女の口づけをつけられた仁美を見つけ、町工場まで追いかける



▶結界の中で危機一髪のまどかの前に現れたのは、変身したさやかだった！



▶まどかが魔法少女になるのをあきらめたことで、ほむらは安堵するが……



◀さやかは魔法少女になった理由を「心境の変化」とだけ、まどかに告げる



▲恭介の手は「奇跡か魔法でもない限り、治らない」と言われ……



▶手が動くようになった！　しかし、恭介はその理由を知らない



▲杏子は、マミとは違った自分本位な言葉をつぶやくが……

虚淵Column

結界の中で、まどかが引っ張られたり伸ばされたりしますけど、あそこだけは劇団イヌカレーさんの美術を元にアニメーションとして作っているんです。イヌカレーさんとアニメの相乗効果で面白い映像になっていますね。

Character





美樹（みき）さやか

まどかのクラスメイトで、活発な性格。武器は剣。幼なじみの恭介に淡い恋心を抱いている。

用語辞典

• 魔女の口づけ

魔女がターゲットとして選んだ人間に現れる印。魔女によって形は異なる。これをつけられた人間は、自殺したり交通事故を起こすなど、死に至るような行動を取ろうとする。助かった場合、その行動の記憶は残っていない。



◀仁美の首筋についた魔女の口づけ

第５話

「後悔なんて、あるわけない」

魔法少女になったさやかの、恭介の手を完全に治すという願いは叶い、恭介はヴァイオリンを再び弾くことができるようになった。魔法少女として戦う決意をしたさやかを案じるまどかは、ほむらに「さやかと仲よくしてほしい」とお願いする。しかし、ほむらはただ「美樹さやかのことはあきらめて」と告げるのだった。どうしたらいいかわからなくなったまどかだったが、さやかの役に立ちたいと考え、魔女退治に同行。2人は街中で使い魔に遭遇する。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／小俣真一　演出／間島崇寛　作画監督／福永純一、宮嶋仁志

虚淵Column

杏子の武器は脚本では「槍」としか書かなかったので、まさか蛇腹の武器になるとは思いませんでした。バトルも「さやかが押されています」という記述だったんですけど、描かれ方としては、さやかが健闘していましたね。



▲恭介が元気になったことで、さやかは自分も救われたような気持ちになっていた



◀魔法少女同士が戦うことになってしまうという現実に、とまどうまどか



◀新しく魔法少女になったさやかを監視する杏子。やり合う気が満々だったようだ



▲杏子は多節槍を使って、さやかを追い詰めていく。まったく手加減はしない



▶ほむらは「魔法少女になってしまったら救われる望みはない」とまどかを突き放す



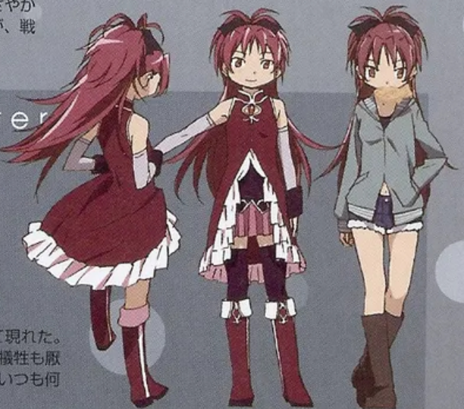
◀マミが孤独だったことを知っているまどかは、強がるさやかに同行しようとする



▲癒しの祈りを契約にしたさやかは、人一倍の回復力を持つが、戦いに不慣れなため劣勢に

Character





佐倉（さくら）杏子（きょうこ）

マミの縄張りを狙って現れた。自分のためなら、他人の犠牲も厭わない利己主義な性格。いつも何かを食べている。

用語辞典

• ワルプルギスの夜

強大な力を持つ魔女。普通の人間には、大災害として知覚される。ほむらはこれを止めるため、杏子に共闘を申し込む。



第６話
「こんなの絶対おかしいよ」

新たに現れた魔法少女・杏子に、さやかが襲われた。ほむらが介入したことで、なんとか事なきを得るが、まどかは戸惑うばかり。さやかに杏子と仲よくして魔女退治をしてほしいと告げるものの、その気持ちは伝わらない。その頃ほむらは、杏子と接触を図っていた。「この街をあなたに預けたい」そう語るほむらの真意を測りかねる杏子。まどかとさやか、ほむらと杏子、それぞれの思いが絡み合い、すれ違う中、杏子は再びさやかと激突しかけてしまい……。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／笹木信作　演出／浅利藤彰　作画監督／福永純一、宮嶋仁志


▲抜け殻のようになってしまったさやか……


◀魔法少女としてはベテランの杏子も、ほむらの能力を理解できず警戒する


▲ソウルジェムの正体は杏子も知らなかった。杏子はキュゥべえを糾弾するが……


▶キュゥべえは杏子に勝つためには、まどかの力を借りればいいとさやかに伝えるが……


▶杏子と仲よくしてほしいと言ってもさやかに理解してもらえず、まどかは思い悩む

▼ほむらの活躍により事なきを得たさやか。だが、本人は何が起きたのかわからず……




▶さやかと戦おうとした杏子の前にほむらが現れ、事態を収束させようとする


▲ソウルジェムの正体を知っているほむらは、必死にさやかのソウルジェムを追う

虚淵Column

ソウルジェムの秘密の明かし方は結構悩みました。どういう理屈で100m離れさせるか。たまたまの事故で、しかも人目に付かない場所ということで高速道路になりました。まどかはさやかを救えると思ったんでしょうけど。

Character




志筑（しづき） 仁美（ひとみ）

まどか、さやかのクラスメイトで親友。ピアノや日本舞踊、お茶など習い事をいくつも掛け持ちするお嬢さま。




上条（かみじょう） 恭介（きょうすけ）

さやかの幼なじみで、天才的なヴァイオリニスト。事故でケガをしてしまい、医者からは二度と演奏はできないと言われていた。

Others



大人気ダンスゲーム『Dog Drug Reinforcement』のマスコットキャラクター・イヌタルマブラザーズ。

第７話
「本当の気持ちと向き合えますか?」

帰宅したさやかは、キュゥべえから、魔法少女の魂と体の真実を聞く。そして、魔法少女となって戦う運命を受け入れてまで叶えた願いと、その代償の大きさの間で心が揺れ動いてしまう。学校にも行かず、落ち込むさやかの前に現れたのは、これまでことあるごとに敵対していたはずの、佐倉杏子だった。彼女は廃墟となった教会へとさやかを誘い、自分がどうして魔法少女になったのか、その理由を語り始めるのだった。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／西田正義　演出／城所聖明　作画監督／小林亮、かどともあき


▶病院を退院し、久しぶりに復学した恭介に声をかけられないさやか


▲キュゥべえはソウルジェムに魔力を注入し、さやかに「本当の」痛みを教える


▲自分の身体に起こった真実を知り、さやかは泣き崩れる……


▲正直者で優しかった杏子の父。その真面目な性格のため苦悩を抱えていた


▲杏子は、家族の運命を目のあたりにし、人のためには魔法の力を使わないと決めたのだったが……


◀杏子の助けも借りようとせず、さやかはただひとりで魔女に挑む


◀流れ落ちる血がまるで涙のようにさやかの頬を伝う

虚淵Column

イヌカレーさんの絵は杏子の回想シーンに上手くハマりましたね。あれだけ劇的な空間になるとは思いませんでした。キュゥべえがネタバレしだすのは、終盤で全部話すには情報量が多すぎるからというのもありました。

Character



鹿目（かなめ） 知久（ともひさ）

まどかの父で専業主夫。詢子に代わり、炊事、洗濯、家事、タツヤの面倒など家事全般をこなす。おだやかな性格。



早乙女（さおとめ） 和子（かずこ）

まどかたちのクラスの担任で、担当教科は英語。恋人とは長続きしないことが多いらしく、気がつけば授業中に愚痴っている。



鹿目（かなめ） タツヤ

まどかの弟。幼稚園に通う3歳児。まどかのことが大好き。



鹿目（かなめ） 詢子（じゅんこ）

まどかの母。バリバリのキャリアウーマンで、夫の知久曰く「がんばるのが好きな人」。深夜に帰宅することもしばしば。

第 8 話

「あたしって、ほんとバカ」

自らが傷つくのも顧みずに戦うさやかをたしなめるまどか。しかし、負の感情にとらわれたさやかにその言葉は届かない。無茶ばかりするさやかの戦い方を見て、ほむらもさやかにソウルジェムを浄化するように忠告するが、彼女はそれを聞き入れようとはしない。頑ななさやかの態度に、ほむらは「殺してあげる」と手をあげ、杏子に止められる。そんなほむらたちの前から逃げ出すように姿を消したさやかを追うまどか。そんなまどかを、ほむらは止めようとするが——。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／小俣真一　演出／川畑喬　作画監督／近藤優次、松本朋之

虚淵Column

それまでの美術も斬新でしたけど、ほむらの家に関しては凄すぎるだろうと（笑）。でも、実写だったらセットを揃えるのが困難なものを、絵なら再現できるのがアニメの強みだという監督の考えには賛成です。



▶戦い方に口を出され、逆上したさやかはまどかに自分も「戦え」と言ってしまう



▲まどかの前で初めて涙を見せるほむら。その思いにまどかはとまどう



◀ほむらは杏子を自分のアパートに呼び、ワルプルギスの夜への対策を立てようとする



▶使い魔との戦いで、さやかはどんどん消耗していく



◀不気味に目を光らすキュゥべえ。もはや最初のころのような愛らしさは感じられない



▲まどかが願えばさやかを元に戻せるかもしれないと言われ……



▲誰かの幸せを願った分、誰かを呪わずにはいられない。魔法少女の性に気づいたさやかだが……



▶さやかは、ホストたちの心ない会話を聞き、この世界に守る価値があるのかとつぶやく

第 9 話

「そんなの、あたしが許さない」

穢れをため込んださやかのソウルジェムはグリーフシードへと姿を変え、そこから新たな魔女が生まれた。まどかの前に残されたのは、変わり果てたさやかの姿だった……。憧れていた魔法少女の真実と、さやかの運命を知り落ち込むまどかに、キュゥべえは契約により魔法少女を生みだす理由を語るが、まどかには理解できない。翌朝、学校へ向かう途中で、杏子からさやかを助けないかと誘われたまどかは、一縷の望みを託して魔女さやかの元へと向かう。

脚本／虚淵玄　絵コンテ／七嶋典子　演出／向井雅浩　作画監督／片山みゆき



▲どれだけ攻撃をしかけられても、杏子は一歩も引かず、説得を試みたが……



▶グリーフシードとなったさやかのソウルジェムから生まれた魔女が杏子たちを襲う



▶変わり果てたさやかの身体。だが杏子はさやかを救い出すことをあきらめない



▶キュゥべえがまどかを求めていたのは、彼女が膨大な魔力を秘めていたからだった



▶まどかはさやかから生まれた魔女に向かって、必死に声をかけるのだが……



◀「人を幸せにしたい」と言ったさやかの言葉。杏子は自分にできなかったそれを信じたかった

魔女さやか

さやかが魔女化した姿。上半身は鎧兜をまとった騎士で、下半身は人魚の姿をしている。結界内はコンサートホールのような形をしており、指揮者の姿も見られた。





▶致命傷を負った杏子は、さやかに「一緒にいてやる」と声をかけて、共に散っていった



▶さやかを救える可能性はなかったと、キュゥべえは悪びれる様子もなく告げる

虚淵Column

魔女になったさやかは、やっぱり前の姿からは想像外なのものが来ました。しかも人魚姫をモチーフにしていて、さすがイヌカレーさんだなと。杏子の最期のシーンも意外性のある映像でしたね。

魔女と使い魔たち





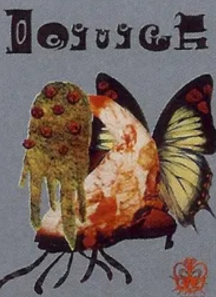
暗闇の魔女の手下。第3話に登場。その役割は夢。あらゆるものに姿を変えることができ、漆黒の闇に魔女の望みを描き出す。ただし、わずかでも光があると、その力は半減してしまう。



お菓子の魔女。第3話に登場。その性質は執着。全部をほしがる。お菓子を無限に生み出せるが、大好物のチーズだけは生み出せない。伸縮自在な体に姿を変えることができる。



お菓子の魔女の手下。その役割はチーズを探すこと。しかし、役割をこなすことにはあまり過度な期待はしないほうがいいらしい。



薔薇園の魔女。第2話で登場。性質は不信。何よりも薔薇が大事で、力のすべては美しい薔薇に注ぐ。結界に迷い込んだ人間の生命力を奪って薔薇に分け与えている。



魔女の手下（使い魔）。第1話で登場。その役割は造園。おヒゲは魔女にセットしてもらっている。



薔薇園の魔女の手下。第2話で登場。その役割は警戒。人間を見つけると、ベルのような警戒音を鳴らし、頭突きを食らわせる。視力は2.5。小型タイプは薔薇の蔦に変身可能。

第 10 話

「もう誰にも頼らない」

見滝原中学校へ、メガネに三つ編み姿の女の子が転校してきた。病気がちで引っ込み思案だった彼女に優しく手を差し伸べてくれたのは、保健委員のクラスメイトだった。さらに、魔女に襲われそうになった少女を、2人の魔法少女が救う。そこで初めて、魔法少女という存在を知る少女。だがしかし、2人の魔法少女は大型の魔女と戦い、敗れてしまう――。とある願いを胸に少女はキュゥべえと契約して魔法少女となったのだが……。

脚本／虚淵玄 絵コンテ／笹木信作 演出／八瀬祐樹 作画監督／伊藤良明、潮月一也



▲創意工夫をして爆弾を作り、魔女退治に成功!



▲戦いの中で彼女のソウルジェムは真っ黒に染まってしまう



▲苦悶の表情を見せる彼女に一体何が……



◀魔法少女として戦いの役に立ちたいと、様々な武器を手に入れる少女



▲魔法少女たちは自分たちの存在についての真実を知る



▲魔女に狙われた少女を助けてくれたのは、魔法少女たちだった!?



▲大型の魔女との戦いで、魔法少女は破れてしまう。そこにキュゥべえが現れ……



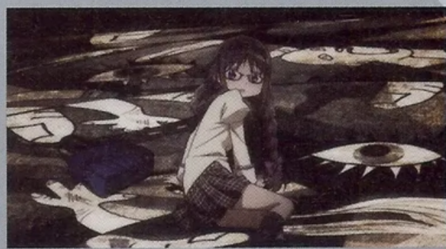
▲魔法少女の死を悲しむが、キュゥべえと契約すれば願いを叶えられると聞く



▲転校してきたばかりの少女は気が弱く、クラスメイトからの質問にたじたじ



▶保健委員のクラスメイトは、少女が困っているのに気づいて助けてくれたのだ



▲勉強もスポーツもできないという、劣等感で落ち込んでいた少女は、魔女の結界に迷い込んでしまう

虚淵Column

情報量がすごく多いので、いろいろと厳しかったです。描写の細かさなども大変でした。この話では戦闘シーンをお任せではなく自分で書いているんですけど、ダメ出しもなく、絵コンテで最後までフォローされました。

魔女と使い魔たち

影の魔女。第7話に登場。その性質は独善。すべての生命のために祈り続ける魔女。影の中へあらゆる命を平等に引きずり込む。魔女を倒すためには、黒色の苦痛を知らなくてはならない。



影の魔女の手下。第7話に登場。その性質は盲信。影の魔女によって平等に救われた命たちの集合体。自分たちの同胞を求めている。



銀の魔女の手下。第7話に登場。その役割は主張。体についたパイプから、近所迷惑な爆音をまき散らし、気まぐれな砂嵐のように移動する。磁石が嫌い。





犬の魔女の手下。第8話に登場。その役割はインテリア。意志を持たずにただ回転しているだけのマネキン。

銀の魔女。第7話に登場。その性質は自由。高速で移動する結界の中に潜んでいるが、魔女自身は愚鈍。かつては全身目もくらむほどの銀色だったが、海岸線の夕日を眺めているうちにさびてしまった。





ハコの魔女。第4話に登場。その性質は憧憬。筋金入りの引きこもり魔女で、憧れはすべてガラスの中に閉じ込める。閉じ込められた者は心を簡単に見透かされてしまう。



ハコの魔女の手下。第4話に登場。その役割は運搬。手下が触った物体は、とても運びやすくなる。

落書きの魔女の手下。第5話に登場。その役割は童心。人間をボールに変える力がある。ボールに変えられた人間は、今までついた鞠の数だけ地面を跳ねないと元の姿に戻れない。



Next Issue Illustration

次回予告イラスト集

毎回、人気クリエイターがイラストを担当して話題となった、
予告イラストを一挙公開。様々なタッチで表現されたまどかたちを堪能しよう!



第1話 ハノカゲ



第2話 氷川へきる



第3話 津路参汰(ニトロプラス)



第4話 小林尽



第5話 ゆーぽん(ニトロプラス)



第6話 ウエダハジメ



第7話 天杉貴志



第8話 藤真拓哉(協力:田中研太郎)



第9話 なまにくATK(ニトロプラス)



第10話 ムラ黒江

Set Collection

蔵出し 秘蔵設定集!

これまで明かされていなかった、各話設定を特別に大公開!



[詢子バスローブ]
第6話でまどかの相談を聞いていたときのバスローブ姿

[カーディガン]
髪を上げたまどかがかわいい、カーディガン姿

[パジャマ]
第1話で着ていたパジャマ。まどかは第2話では緑のものを着用

[OL]
第2話で魔女に狙われたＯＬさん

[体育教師]
第1話に登場した体育の先生

[体操服]
第1話の体育の授業で着ていた体操服。ブルマに注目

[数学教師]
第9話に登場した数学教師

[メガネの少女]
第10話で登場した、おさげ髪でメガネをかけている少女

魔法少女アイテム



[ほむらの盾]

グリーフシード

ソウルジェム
（リング型）

[ソウルジェム]
（宝石型）
右上／ほむら
右下／マミ
左上／杏子
左下／さやか



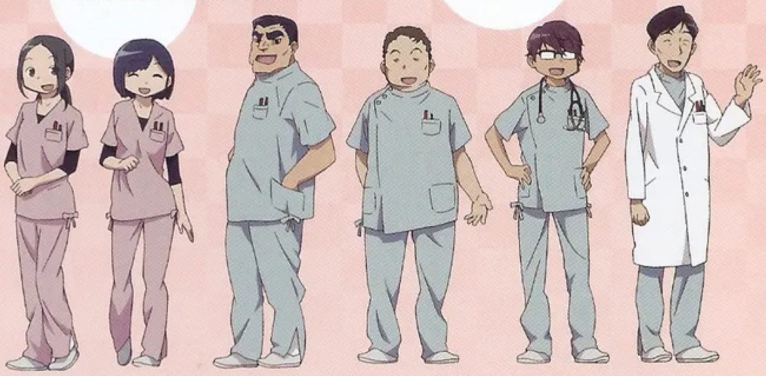
[クラスメイト（女子）]

まどかたちのクラスメイトの女子たち



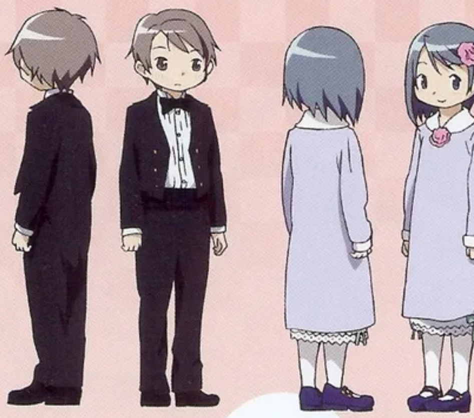
[クラスメイト（男子）]

こちらもまどかのクラスメイトたち



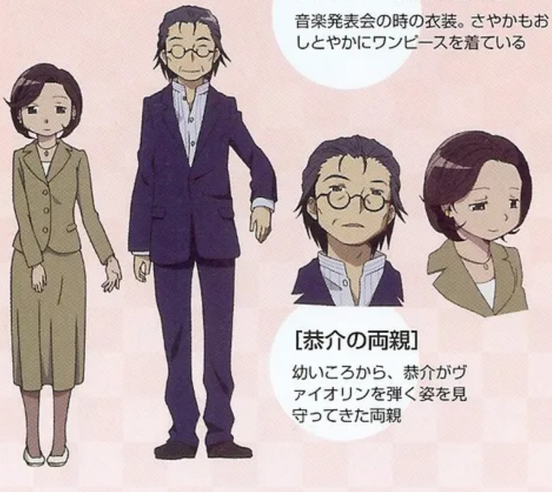
[病院スタッフ]

恭介が入院していた病院のスタッフ



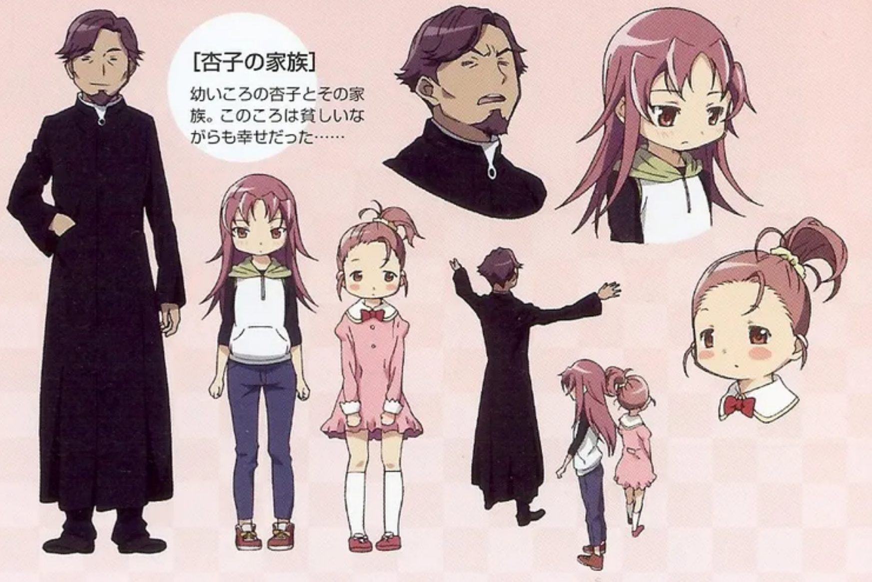
[さやか・恭介 幼少期]

音楽発表会の時の衣装。さやかもおしとやかにワンピースを着ている



[恭介の両親]

幼いころから、恭介がヴァイオリンを弾く姿を見守ってきた両親



[杏子の家族]

幼いころの杏子とその家族。このころは貧しいながらも幸せだった……



[さやかの剣]

[杏子の槍]

[マミのマスケット銃]

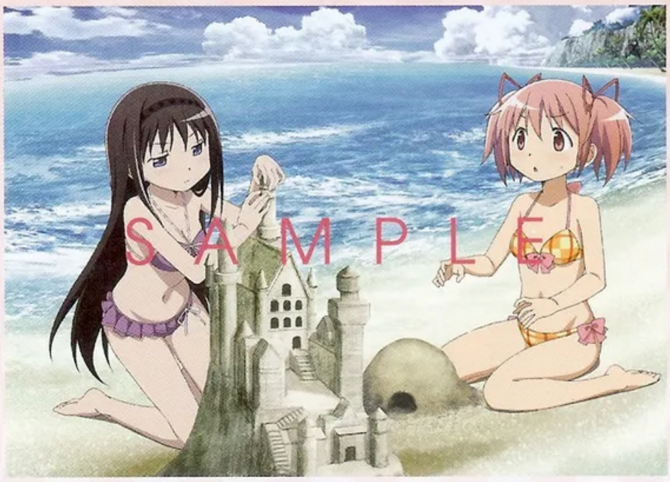
Illustration Gallery

イラスト ギャラリー

『魔法少女まどか☆マギカ』の貴重なイラストの数々を紹介。
Blu-ray & DVDの各店舗特典のイラストはどれもかわいいものばかりなので、気に入ったイラストがあったらぜひその店舗で予約しよう!



● **Blu-ray & DVD 第1巻**
パッケージイラスト



● **ゲーマーズ**
全巻購入特典:全巻収納BOX用描きおろしイラスト



● **Blu-ray & DVD 第2巻**
パッケージイラスト



● ソフマップ

全巻購入特典：テレホンカード用描きおろしイラスト



● HMV

第1巻購入特典：B2ポスター用描きおろしイラスト



● とらのあな

全巻購入特典：特大タペストリー用描きおろしイラスト



● アニメイト

全巻購入特典：全巻収納BOX用描きおろしイラスト

Staff Comments

スタッフコメント集

『魔法少女まどか☆マギカ』を支えてきた
メインスタッフの方々から、メッセージをいただいたぞ!
しかもイヌカレーのスペシャルイラスト付きだ!!

キャラクター原案

蒼樹うめ

制作側のひとりでもありながら、放映中は完全にイチ視聴者になって楽しんでしまいました。見てくださった皆様にもほかの制作の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました!

音楽

梶浦由記

ともかくいただいた脚本に夢中になり一気読みし、『魔法少女まどか☆マギカ』世界のとりこになりながら、初めから最後まで楽しく楽曲を作らせていただきました。セリフや動きが多い作品ですので、ストーリーの動きに逆らわないような楽曲作成を心がけました。現実世界と魔女たちの織りなす、不気味だけれど不思議に美しい世界。魅力的なキャラクターたちが飛び回る作品の彩りに、私の作った音楽群が少しでもお役に立てていれば光栄です。

シリーズディレクター

宮本幸裕

「ここの敵、どんな感じなんですかね? シュバッシュバッですか?」「いえ、こう、ブワー、ググワーって感じで」「ああ、スケール感重視でグバァッてきてゴオォォォッて感じですね」
打ち合わせをしている時が、一番楽しいです。あ、でもキュゥべえの提供バック絵を選んでいる時のほうが楽しいかもしれません。これからも『魔法少女まどか☆マギカ』をよろしくお願いいたします。

脚本

虚淵玄(ニトロプラス)

申しわけありません。本当は最終話まで全話の放映を終えた後で、すべてを語り尽くす記事内容にできるはずだったのですが、憎き大震災の影響でメガミマガジン発売日までに物語の全容を皆様にお届けできませんでした……。ここで明かせなかった数々の秘密は、いずれまた改めて読者の皆様にお伝えできればと思っています。今は被災地の1日も早い復興を願いつつ、このアニメが明日の日本を元気づける一端を担ってくれれば、と思います。

異空間設計

劇団イヌカレー

現代日本を裏から操っているのは白い動物にほかなりません。すでに埼玉県民の3人にひとりは彼らがなりすます「キュゥべえ人間」なのです。皆様も素直にあきらめて、白い動物国家へ忠誠を誓いまキュゥ。我々が愛したキュゥべえは肉体的精神的側面において、永久に不滅でキュゥ。(泥犬)



madoka ☆ magica

魔法少女まどか☆マギカ

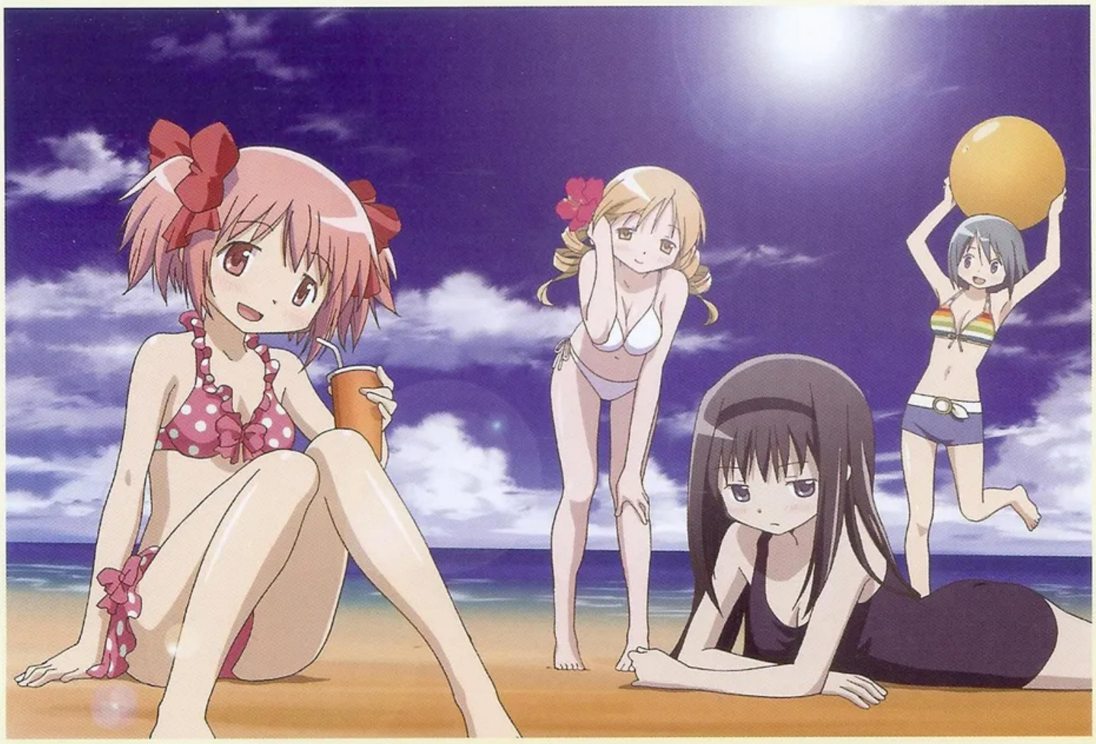
STAFF
原作/Magica Quartet 監督/新房昭之
脚本/虚淵玄(ニトロプラス) キャラクター原案/蒼樹うめ
キャラクターデザイン/岸田隆宏 シリーズディレクター/宮本幸裕
総作画監督/谷口淳一郎、高橋美香
アクションディレクター/阿部望、神谷智大
異空間設計/劇団イヌカレー 美術監督/稲葉邦彦
撮影監督/江藤慎一郎 編集/松原理恵
音響監督/鶴岡陽太 音楽/梶浦由記
アニメーション制作/シャフト

CAST
鹿目まどか/悠木碧 暁美ほむら/斎藤千和 巴マミ/水橋かおり
美樹さやか/喜多村英梨 佐倉杏子/野中藍
キュゥべえ/加藤英美里 上条恭介/吉田聖子
志筑仁美/新谷良子 鹿目詢子/後藤邑子 鹿目知久/岩永哲哉
早乙女和子/岩男潤子 ほか



最終回が公開された後、『魔法少女まどか☆マギカ』のすべてを虚淵玄氏に語っていただきます。











魔法少女まどか☆マギカ
● Blu-ray第1巻、アニプレックスより税込7350円で発売予定